

## 第7章

# 環境保全啓発活動



## 第7章 環境保全・啓発活動

—持続可能な社会を目指して—

私たちの、大量生産・大量消費・大量廃棄といった生活が地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題につながっています。

環境を保全し、持続可能な社会の実現のためには、環境に配慮した行動やライフスタイルを実践することが大切です。

令和2年度は、市民への環境保全活動・啓発として、COOL CHOICE普及啓発事業としての環境教育やかたの環境講座を開催するとともに、環境基本計画の推進など市民と協働の取組を推進しました。また、市役所の事務事業からの環境負荷低減に努めました。

### 1. 環境教育

地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対策は、市民一人ひとりの行動変容が求められます。環境とそれに関わる問題に気づき、関心を持つことから行動に繋がられるよう、各種事業を展開しました。

#### (1)かたの環境講座

自然とのふれあいの中から、環境の大切さ・貴重さに気づき、環境を守る行動への喚起となるよう、交野いきものふれあいセンターの自然学習と共催で開催しました。

内 容:「初冬のバードウォッチング」

日 付:令和2年11月22日(日)

講 師:交野野鳥の会

受講者数:27名

#### (2)学校での環境教育

地球温暖化の現状について知り、考え、行動変容に繋げるための気づきの機会として、環境教室を実施しました。

実施校:郡津小学校、倉治小学校

対 象:4年生

日 付:令和2年11月21日(土)、25日(水)、26日(木)

協 力:交野市環境基本計画推進会議

### 2. 環境基本計画の推進

交野市環境基本計画推進会議(交野みどりネット)と協働で4つの分野ごとに基本計画にあるプロジェクトを推進しました。

#### (1)自然環境分野

プロジェクト1「里山を知ろう・里山大好き」では自然調査を7回実施し、のべ65名の参加がありました。プロジェクト2「実践!里山保全活動」では、実践活動を29回行い、里山の整備・保全に努めました。のべ参加者は227名でした。

#### (2)エコ生活分野

プロジェクト2「やる気がでるエネルギーダイエット」では省エネを行う意義と実践に向けての取り組みとして、みどりのカーテン巡回写真展を公共施設2か所で行いました。プロジェクト3「売ってエコ 買ってエコ」では食品ロスを減らす工夫について座談会を行い、13名の参加がありました。

#### (3)エネルギー分野

エネルギー部会活動に係る調査をし、各プロジェクトの考察を行いました。

#### (4)まちづくり分野

プロジェクト1「自転車の似合うまち・かたの」及びプロジェクト2「自転車のマナー向上大作戦」に関する事業では、自転車安全運転啓発ポスターを作成し、交野市自転車駐車場、市内各施設、市内自転車屋等、計78か所に配布しました。

#### (5)環境基本計画の推進に関する普及啓発

ウォークラリーを開催し、環境に関するクイズを実施することで、啓発を行いました。参加者は186名でした。

ウェブサイトの公開を通じて、交野市環境基本計画及び交野市環境基本計画推進会議について、周知を行いました。

### 3. 環境マネジメントシステムの推進

本市事務事業における環境負荷の低減のため交野市環境マネジメントシステム(K-EMS)運用し、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷低減に努めました。

#### (1)会議・研修の開催

環境マネジメントシステムの円滑な運用を目的に、推進本部会議を2回開催しました。

職員に対し、環境マネジメントシステムへの理解、取組内容の熟知、環境問題への理解等を目的に、研修を実施しました。

#### (2)監査の実施

環境マネジメントシステムの適正な運用を点検・評価するため、内部監査(自己監査)と専門家による外部監査(2次監査)を実施しました。

##### ○内部監査(自己監査)

実施日:令和2年9月17日～令和2年10月16日

##### ○2次監査

実施日:令和2年2月18日

対象部局 事務局  
監査員 専門家3名

##### ○監査結果概要

交野市環境マネジメントシステムは、交野市環境マネジメントシステムマニュアルに従って、妥当であり、適正に運用され、有効に機能していることを確認できました。

#### (3)目標達成状況

K-EMSでは事務事業において排出される温室効果ガスの削減及び環境負荷低減のため、目標を掲げ、省エネルギー・省資源の取組を推進しています。令和2年度の目標及び結果は次のようになりました。

①令和2年度 温室効果ガス削減取組結果一覧

温室効果ガス排出量については、平成26年度を基準として、令和2年度までに5%削減することを目標としています。

項目	R2年度結果	基準値【H26年度】	基準値対比
電気使用量(kWh)	13,878,670	14,180,522	-2.1%
ガソリン使用量(L)	52,476	57,294	-8.4%
軽油使用量(L)	47,444	67,632	-29.8%
灯油使用量(L)	11,297	168,152	-93.3%
LPG使用量(kg)	14,141	18,923	-25.3%
都市ガス使用量(m <sup>3</sup> )	616,283	248,577	147.9%
温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )	6,585	8,782	-25.0%

②令和2年度 環境負荷低減取組結果一覧

項目	目標	R2年度結果	基準値	基準値対比
水使用量(m <sup>3</sup> )	R2年度までに H26年度対比5.0%削減	83,622	157,929	-47.1%
廃棄物の排出量(袋)	前年度より削減	37,743	37,509	234
コピー用紙の購入量(枚)	前年度より削減	8,911,306	8,227,675	683,631
太陽光発電の設置数(基)	R2年度までに3基以上設置	0	—	既設置数5
低公害車の導入量(台)	R2年度までに10台以上導入	2	—	既導入台数16
環境に配慮した施策事業数	前年度より増加	98	71	—